

ものづくり体験教室 「鑄物 キャラクターぶんちゃん」

埼玉鑄物技能士会



その場で溶かした亜鉛合金を流し込んだ

埼玉鑄物技能士会(入野純一会長)は10月22日に「川口市市産品フェア2022」のイベントの一つとして行われた「ものづくり体験教室(技能フェスタ)」において、「鑄物 キャラクターぶんちゃん」体験を担当した。技能士会では子ども達が優れた技能に触れることで、ものづくりの喜びや感動、技能の重要性やすばらしさを体験してもらうことを目的として



ものづくりの楽しさを体験

る。今回は小学生以上が対象。ドラえもんやウルトラマン、きゅぼらん、ハイルカ、カブトムシなど16種類のキャラクターの中から好きなキャラクターを選び、型作りへ。型に、その場で溶かした亜鉛合金を流し込み、水につけて冷ました後、余計な部分を取る作業が行われ、鑄物製の文鎮が完成。日頃見ることが少ない、鑄物製品が仕上がるまでの過程が目の前で繰り広げられると、皆熱心に眺めていた。初めての体験となった子や経験したことがあるという子、毎年訪れるという子まで、親子で訪れたい、鑄物製品が仕上がるまでという文鎮に喜ぶ姿が見られた。

経済産業省 8月の生産動態統計

経済産業省が発表した8月の生産動態統計(速報)によると、鉄鋼の生産量は前年同月比4.2%増の23万7143トとなった。鉄鋼以外の動向を見ると、鑄鋼品の生産量は前年同月比0.3%増と減少した。

会員増加に向け活動をPR 川口市市産品フェアに出展 川口鑄金工芸研究会

川口鑄金工芸研究会(猪俣幸治会長)は、10月21日〜23日にSKIPシティで催された「川口市市産品フェア2022」に出展した。減少傾向にある会員の増加に向



毎週2回「鑄金工芸教室」を開催



「きゅぼらん」を展示販売



近日販売予定のレリーフ

け、PR活動を強化する一環。昨年1月に鑄金工芸研の初の商品として売り出した鑄物製の置物「きゅぼらん」を展示販売するとともに、会員が制作した鑄鉄やブロンズ鑄物の作品を展示。近日発売予定の「きゅぼらん&うさぎのレリーフ」が初めて

お披露目された。様々な職業や年齢の市民が自主運営する任意団体である鑄金工芸研。毎週水曜と金曜の週2回、(株)山崎鑄鉄工業所(川口市朝日)内の鑄物実習場で「鑄金工芸教室」を開催し、美術工芸品や身の回りの道具などを鑄物で制作している。1964

年東京五輪の聖火台(旧国立競技場の炬火台)を作り上げた鈴木文吾さんが生前、講師を務めたことでも知られる。商品の「きゅぼらん」は、川口市の同名のゆるキャラを手のひらサイズにしたもので、亜鉛合金鑄物製。同市の許可を得て、商品化にこぎ着けた。

価格は3500円。「鑄物の街川口」を象徴する溶解炉のキューポラをモチーフにしたゆるキャラが地元で誕生したのを受け、文吾さんの弟子である岸洋アトバイザが試行錯誤を繰り返して試作品を鑄造。木型は文吾さんの実弟で木型師の鈴木昭重副会長が作った。川口のPRに少しでも貢献しながら、鑄物工

講演会 「精密鑄造と美術」

川口鑄金工芸研究会は講演会「精密鑄造と美術」を11月13日16時〜17時30分に、メディアセブンプレゼンテーション・スタジオ(川口駅前)で開く。講師を務めるのは美術作家の高橋賢悟氏。高橋氏はこの春東京藝術大学美術学部の博士課程を修了。在学中より高度な造

形・鑄造技術に裏打ちされた現代美術作品を発表している。ニューヨークでの展示を終え帰国したことを契機に、作品制作でのコンセプトや鑄造技術について語る。参加費無料。定員は50人。申し込み・問い合わせは同会(☎090・1776・6987)へ。

委員会報告

川口鑄物工業協同組合は10月12日に開いた理事・部会長会で、9月の総務・業務両委員会の審議内容に関する報告があった。主な内容は次の通り。
【総務委員会】(佐々木正委員長)①組合機関紙「川口鑄物ニュース」9月25日号の編集について承認②引継書について承認③令和4年度組合員懇親会について検討④令和4年8月度財政収支状況について承認⑤第54回永年勤続優良従業員表彰について報告⑥玉掛け技能講習・クレーン運転特別教育講習会について報告⑦鑄造協会「CO2排出量とエネルギー使用量アンケート」について依頼⑧「鑄物技術委員会からの要請事項」について要望
【業務委員会】(伊藤厚委員長)①共同受注

訃報

小日向淳さん(ごひな たじゅん)(株)東北車輛製造所社長・青木北部会)10月20日逝去。享年50歳。葬儀はマレーシアでの現地葬の後、国内で家族葬を予定。謹んでご冥福をお祈りいたします。

初午太鼓演奏会

イイナパーク川口
11月27日10時30分〜13時
「初午太鼓演奏会」が
鼓事務局(☎048・224・6200)へ。

川口の伝統である初午太鼓を楽しめる

令和4年7月鉄鉄鑄物生産量

用途別	令和4年7月		令和4年6月(前月)	令和3年7月(前年同月)
	重量(t)	前月比(%)	重量(t)	重量(t)
一般・電気機械用	4,599	97.0	4,740	4,154
輸送機械用	2,548	106.3	2,396	2,934
その他用	1,887	101.5	1,860	1,358
合計	9,034	100.4	8,996	8,446
対象工場数	65		65	68

令和4年7月非鉄鑄物生産量

種別	令和4年7月		令和4年6月(前月)	令和3年7月(前年同月)
	重量(kg)	前月比(%)	重量(kg)	重量(kg)
銅・銅合金鑄物	31,720	93.7	33,837	19,829
アルミニウム鑄物	1,519,720	101.9	1,490,674	1,605,861

資料：川口鑄物工業組合調査、経済産業省生産動態統計調査のうち埼玉県内の事業所集計分(非鉄鑄物生産量は経済産業省生産動態統計調査による)
注1) 30人未満の事業所分は川口鑄物工業組合調査結果から下記の計算により算出しています。
有効回答の合計重量 × 調査対象事業所数
注2) 「鉄鉄鑄物」…ここでは必ずしも鑄鉄及び球状黒鉛鑄鉄を指し、可鍛鑄鉄等を除く。

テストピース用シェル鑄型の販売価格

品名	組員価格	員外価格
○FC用シェル (2本1組)	616円	1,232円
○FCD用ノックオフ形シェル	616円	1,232円
○板チル用シェル (10個1組)	660円	1,320円
○発光分光分析用定盤	6,600円	1セット
○ " " 金型	26,400円	66,000円

(税込)

川口鑄物工業協同組合
申込み・問い合わせは 業務部材料試験課(直通) 電話 048-228-3047 FAX 048-224-1829

鑄鉄 非鉄鑄物7月の生産動向